

# 2020年度 事業報告書

(2020年4月1日から2021年3月31日)

特定非営利活動法人 はなはな ひろば  
理事長 吉田 亜希子

## 1. 事業活動報告

特定非営利活動法人 はなはなひろばの第14期目の活動は、2020年4月1日から2021年3月31日の12か月である。

期末現在の会員数は、21名、賛助会員数は10名である。

期中の新規入会会員は0名、脱退会員3名である。

## 2. 事業内容

<特定非営利活動に係る事業>

### I) 親と子のつどいのひろば事業

- ほっと安心できる子育てひろばとして、0歳から未就学児とその養育者がいつでも自由に集える場の提供を目的とする。
- ひろばの利用料は1家族1日100円。同じ日に再来することがあっても、一度受け付けていれば利用料はもらわない。
- コロナ感染症対策のために4～5月中は預かりのみ受け入れ通常のひろばは閉館したが、期間中も毎日スタッフ1名を必ず配置した。
- 第一回目の緊急事態宣言解除後の6月以降は月曜日から金曜日までの平日は毎日、偶数月の第2土曜日、奇数月の第3土日も開設した。利用は午前と午後で定員を設けた入れ替え制にした。
- 毎週月曜日と水曜日の午前中を“赤ちゃんタイム”とし、よちよち歩きまでの子どもと養育者だけの時間帯にした。
- 日常のひろば活動の他に養育者の希望も取り入れ、月2回程度のイベントを予定したがコロナ対策で一部は開催できなくなった。
- 養育者の育児負担の軽減を図るため、6か月から未就学の子どもを対象に一時預かりを行った。
- 遠方であったり、また他の事情でひろばへ足を運びづらい養育者のために「子育てメール相談」を行った。希望がある時や必要と思われる時には面談も行った。
- この事業は、横浜市「親と子のつどいのひろば事業」としての委託を受けている。当期、委託金額は7,584,000円（うち一時預かりに関わる補助金は1,536,000円家賃補助720,000円）。

### ④ 日常ひろば活動

活動状況は次の通りである。

通常ひろば活動日数：202日 利用組数：1,595組 利用人数：3,381人

- a) 6月のひろば再開時は先着順で来所者を受け入れていたが、なるべく多くの親子が利用できるよう前日の電話予約制に切り替えた。
- b) 毎週月曜日と水曜日の午前中に設けた“赤ちゃんタイム”は親子が安心してゆっくり過ごせるようにしたが、定員を設けたため利用が一部の親子に偏るようになったので、週のどちらかに来所してもらおう等の工夫をした。
- c) 感染予防のためおもちゃの整理をし、朝と昼に施設内のおもちゃの消毒を徹底した。また、スタッフや利用者には掲示などでマスク着用、手洗い、消毒、検温などを徹底した。
- d) 日本語が理解しづらい利用者のために、英語版の利用のしお리를用意している。
- e) ホームページの内容を充実させ、SNSを使つての広報に工夫をしたためひろばの情報がより早く伝わるようになった。

- f) 区役所、保健センター、地区センターなど地域の子育て支援に関わる機関や赤ちゃん訪問員にチラシを配ってもらう等ではなはなひろばを宣伝、紹介してもらえた。
- g) 地域の子育て関連施設のチラシを玄関前に掲示、ひろば内に配架、または利用者に手渡しをして情報提供した。
- h) ホームページをみたという以外に、友達からの紹介やひろばの前を通った時に気になり来所した親子もいた。
- i) 保健士が直接親子をひろばへ連れて来てくれ、その親子が通常利用に繋がるケースもあった。
- j) ひろばを利用する親同士が情報を交換し合ったり誘い合わせて出かけるなど、ひろばでの出会いが他での交流にも繋がっていた。
- k) スタッフは子育て中の親が安心して寛げるよう心掛け、初めて来所した親子を居合わせた利用者に紹介し、ひろばに打ち解け易いように意識的に働きかけた。また、リピーターの親子が新規の利用者に声掛けをして気持ちを和ませる役割をしてくれた。
- l) 母親以外の保護者が利用するケースも増えた。(父親、祖母、友人など)
- m) 2018 年度から年々利用者が減ってきている。来所する子どもが低年齢化しているのに併せ、子どもが成長すると働き始める母親が増えることが一因と思える。

### 広場利用実績

	2020 年度	2019 年度	2018 年度	2017 年度	2016 年度	2015 年度
総開催日数	202 日	220 日	239 日	236 日	237 日	236 日
利用者数	3,381 人	3,650 人	4,617 人	5,663 人	5,456 人	5,354 人
1 日平均	16.7 人	16.6 人	19.3 人	24.0 人	23.0 人	22.7 人

2020 年度月別利用状況は以下のとおりである

月別 利用 状況	月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
	利用組数		0 組	0 組	153 組	180 組	153 組	129 組
利用人数		0 人	0 人	327 人	389 人	334 人	262 人	315 人
月別 利用 状況	月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	1 日平均
	利用組数	133 組	173 組	142 組	189 組	191 組	1,595 組	7.9 組
	利用人数	276 人	369 人	301 人	393 人	415 人	3,381 人	16.7 人

### ⑤ イベント

年間に催したイベントは次の通りである。

新型コロナウイルス感染症予防のため、予定していたイベントを中止した。(4 月～8 月半ば)

- a) 日常の活動を大切にするためになるべくイベントの回数を抑えるようにしたが、利用者の希望もあり今年度も月に 2～4 回の開催を予定した。しかし新型コロナウイルス感染症予防対策のため 4 月～8 月の間は開催を中止せざるを得なくなった。
- b) 「親子体操」は会場の生麦ケアプラザの事情により 2 月と 3 月の 2 回だけの開催となった。
- c) はなはなひろばの活動に賛同したひとが月に 1～2 回自主的に来所し、その日の子どもの様子を見ながら絵本の読みきかせなどをして親子を楽しませてくれた。(おはなし会)
- d) 月に一度「保育士さんと遊ぼう」と題し、近隣の保育園に依頼して保育士にひろばへ来て手遊びやお話しなどをしてもらった。人気が高く次回を楽しみにする親子が多かった。育児の相談をする親もいた。
- e) 「絵本とともだち」は毎回人気が高く、感染対策を考え ZOOM 参加を取り入れたが直接参加に人気があった。
- f) 横浜市の案内で「父親育児支援講座」をそれぞれ違う内容で 2 日間開催した。2 回参加は 2 家族、1 回参加は 6 家族で、「気づいていなかった事があった」「参考になった」との感想が多かった。

- g) プレママ支援を目的に「お話し会」を計画したが参加者がなく開催に至らなかった。企画広報の仕方を学ぶ機会となった。
- h) ほぼ毎年開催してきたひろば開設記念行事はコロナ対策で行わず、来所者へ祝いの品を渡すだけにした。
- i) 例年は開催していた「誕生会」は開催せず、その月に誕生日を迎える子どもに写真と手形をプレゼントした。その場に居合わせた親子とスタッフが歌を歌って成長を祝った。

保育士さんと遊ぼう 8回 (52組 102人)	絵本とともだち 3回 (19組 38人)	おやこ体操 2回 (19組 40人)
父親育児講座 2回(8組 20人)	おはなし会 13回(61組 118人)	ベビーマッサージ 4回 (17組 34人)

**合計回 (176組 352人)**

### ◎ 一時預かり

今年度の一時預かり実績は次の通りである。登録者数は3月末までに518名となっている。

一時預かり活動日数：240日

- a) 預かり時のスタッフ体制は1人の子どもに対して必ず1人のスタッフを配置し、安全に細心の注意を払った。
- b) 日常のひろば利用者がここ数年大きく減ってきているにもかかわらず、一時預かりの人数は130%以上、預かり時間は120%以上、昨年より増えた。預かりの理由は通院・介護・仕事が多かった。
- c) コロナウイルス感染対策の4~5月閉館中も預かりは受け付けたが閉館が決まってからの新たな申し込みは無かった。既に予約されていた預かりのキャンセルは出なかった。9月以降はほぼ毎日、複数の預かりがあった。
- d) 繰り返し一時預かりを利用する親が増えた。
- e) 預かりは予約制ではあるが、親の事情で急に預かりを依頼された時はできるだけ要望に添えるようにした。
- f) 預かり登録数は増えつつあるが実際に利用するところにまで至っていない親子もいる。
- g) 他の子どもの預かりの様子を見て、利用を迷っている親が自分も預けてみようという気持ちになれるよう働きかけた。
- h) スタッフの多くが預かりを担当するようになったので、気付いた課題についてその都度話し合いの場を持ち預かり方について修正したりした。
- i) 預かり中は、通常のスタッフも積極的に預かりの子どもや担当スタッフへの気配りをした。
- j) 預かりのある時に居合わせた親も子どもも、預かりの子に優しく気持ちを寄せてくれていた。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用者数	8人	2人	9人	7人	17人	26人	33人
総利用時間	31時間	6.5時間	20時間	23時間	58時間	77時間	112.5時間
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
利用者数	25人	30人	25人	32人	42人	256人	193人
総利用時間	81.5時間	95時間	64.5時間	84.5時間	141時間	794.5時間	638.5時間

## ④ 子育てメール相談

- a) メール相談は折々に入ってきた。守秘義務厳守のもと、相談が入った時にはできるだけすぐに対応した。
- b) 相談者の思いを第一にして、その相談者が納得したり、自分の力で抱える課題の解決の糸口を見つけることができるように、また気持ちが落ち着けるようにやりとりをした。
- c) ひろばでは対応が難しいと思われるケースは、区役所の子育て支援課などの専門機関に相談した。
- d) 初めての子育てでは、経験者から見ればほんの些細に思える事柄でも、ネットなどさまざまな子育てに関する情報が多いためにかえって不安を抱いてしまう場合がある。そのような時に話せる人がいなかったり自分から出かけ辛い時の相談ツールのひとつになっているように見受けられる。

## Ⅱ) おでかけ広場

- a) 近くに“おやこのひろば”のようなくつろげる場がない親子のために、鶴見区社会福祉協議会との共催で同社協の一室を使用して「おでかけ広場」を開設した。
- b) 月2〜3回、主に金曜日の午前10時〜12時の2時間。(コロナの影響で4〜5月は閉館となった)  
開設：18回 利用人数： 155組 315名
- c) 生麦の「はなはなひろば」までは足を延ばしづらいが「おでかけ広場」なら通いやすいと出向いて来る親子が増え昨年度より倍増した。
- d) 「おでかけ広場」の利用をきっかけに「はなはなひろば」に来たり、時にはイベントにも参加する親子がいた。

## Ⅲ) その他：地域との交流

- 地域の商店街との繋がりを深め、商店街の活性化に何らかの協力できた。
- 同じ地域で活動している「NPO法人 なまむぎこども食堂」との交流がさらに深まっている。
- もとひろば利用者や近隣の方々からの好意で、使わなくなった子供服やおもちゃ等の提供を受けた。

# 貸借対照表

2021年3月31日 現在

特定非営利活動法人 はなはなひろば

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	61,233	
預金合計	3,005,443	
流動資産合計	3,066,676	
2. 固定資産		
固定資産合計	0	
資産合計		3,066,676
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	545,902	
2. 固定負債		
固定負債合計	0	
負債合計		545,902
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	901,854	
当期正味財産増減額	1,618,920	
正味財産合計		2,520,774
負債及び正味財産合計		2,520,774

## 2020年度 活動計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 はなはなひろば

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費 (賛助会費含む)	156,000		
2 受取寄附金			
受取寄附金	1,032,100		
3 受取助成金等			
受取補助金 (横浜市子育て支援課)	8,754,388		
4 事業収益			
利用料、一時預かり利用料	502,150		
5 その他収益			
受取利息	19		
雑収入	300		
経常収益計			10,444,957
II 経常費用			
1 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	4,656,000		
人件費計			4,656,000
(2) その他経費			
旅費交通費	491,424		
交際費	44,498		
公租公課	400		
事務用品費	24,792		
謝金	51,000		
修繕費	44,000		
消耗品費	767,485		
新聞図書費	4,289		
水道光熱費	103,613		
送金料	2,634		
諸会費	17,375		
家賃	2,040,000		
賃借料	2,580		
通信費	63,434		
保険料	69,400		
印刷費	196,924		
会議費	20,719		
備品費	222,300		
雑費	3,170		
その他経費計			4,170,037
管理費計			8,826,037
経常費用計			
当期経常増減額			
III 経常外収益			
経常外収益計			
IV 経常外費用			
雑損失			
経常外費用計			
当期正味財産増減額			1,618,920
前期繰越正味財産額			
次期繰越正味財産額			1,618,920